

SYABI PRESENTS

映像をめぐる7夜

SEVEN NIGHTS, SEVEN LIGHTS

featuring: 足立智美 ADACHI TOMOMI / 有馬純寿 ARIMA SUMIHISA / 飯村隆彦 IIMURA TAKAHIKO / 生西康典 IKUNISHI YASUNORI / 石田尚志 ISHIDA TAKASHI / 小田桐昭 ODAGIRI AKIRA / 掛川康典 KAKEGAWA YASUNORI / 狩野志歩 KANO SHIHO / 角田俊也 TSUNODA TOSHIYA / 豊嶋康子 TOYOSHIMA YASUKO / 西村智弘 NISHIMURA TOMOHIRO / 音男 NEO / 山川冬樹 YAMAKAWA FUYUKI / 山本精一 YAMAMOTO SEIICHI / 渡邊ゆりひと WATANABE YURIHITO

2008.2.21(木) - 24(日)・28(木) - 3.1(土)



東京都写真美術館 地下1階 展示室

入場無料

当日先着順・各日定員制
Presented by Tokyo Metropolitan Museum of Photography

SYABI PRESENTS 映像をめぐる7夜 SEVEN NIGHTS, SEVEN LIGHTS



携帯サイト: <http://syabim.com>

テレビやパソコンのモニター、携帯端末、街角や交通機関に散在する大小のディスプレイ——今日の都市生活の隅々には、さまざまな発信、受信方法をとって「映像」が入り込んでいます。しかし、現代における「映像」とのつきあい方には、まだまだ未開拓で豊かな可能性があるのではないのでしょうか？ このたび、さまざまな角度から「映像」なるものの意味と可能性を考え、実験を楽しむ連続ライブ・イベントを開催します。東京都写真美術館地下1階展示室を会場に、7夜にわたって多彩なゲストを迎え、上映、展示、ライブ・パフォーマンス、レクチャーを日替わりで実施します。日頃は静かな展示室が熱く揺れる7夜にご期待ください。

〔第1夜〕2月21日(木) 開場18:30 開演19:00

「反復する壁」(上映+パフォーマンス+インスタレーション)

ゲスト: 足立智美、石田尚志

即興演奏、楽器の創作、インスタレーション、現代音楽の演奏など多岐にわたり活躍する異才と、有機的な線描をコマ撮りの手法で「動く絵」へと鮮やかに変貌させる気鋭の画家・映像作家の競演。

〔第2夜〕2月22日(金) 開場18:30 開演19:00

「広告と／の映像」(レクチャー+上映)

ゲスト: 小田桐昭

日本における広告映像の歴史を、その黎明期からともに歩いてきた男が、豊富な事例とともに語る創造の現場の過去・現在・そして未来。

〔第3夜〕2月23日(土) 開場17:30 開演18:00

「映像の知覚」(上映+トーク+インスタレーション)

ゲスト: 飯村隆彦、豊嶋康子

方法こそ違いながらも、ともに「私」をめぐる知覚の虚実を分析的に問題化してきた2人のセッションを介して、映像の知覚の構造を探究する。

〔第4夜〕2月24日(日) 開場17:30 開演18:00

「フリッカー・ナイト」(上映+トーク)

ゲスト: 西村智弘

明滅する光と闇、そしてその彼方にのみ生まれ出る像。「フリッカー」の代名詞的な作品から、隠れたフリッカー作品までを集めて上映。貴方はどこまで見つめ続けることができるか？

〔第5夜〕2月28日(木) 開場18:30 開演19:00

「the Voice-over ～内なる映像」(パフォーマンス+インスタレーション)

ゲスト: 山川冬樹

1997年制作、2006年に改訂版として再発表した映像インスタレーション「the Voice-over」は、著名なニュースキャスターだった父親の「声」を主題に、音から心に映る像を再構築(再創造)する試み。

〔第6夜〕2月29日(金) 開場18:30 開演19:00

「不在の映像・音の果て」(ライブ+インスタレーション)

ゲスト: 狩野志歩、渡邊ゆりひと、有馬純寿

表現を抑制した還元的なスタイルで、映像なるものの構造と詩性を可視化する気鋭の映像作家と、ヴォイス・インプロヴィゼーションとリアルタイム・コンポジションの旗手。音と映像がせめぎあうライブ・インスタレーション。

〔第7夜〕3月1日(土) 開場17:30 開演18:00

「眼孔、斜に射す太陽」(映像・音響×ライブ演奏)

ゲスト: 生西康典、掛川康典(映像/音響編集) / 山本精一(ギター) / 角田俊也、音男(音源提供)

「映像」と、現実から切り取られた「音」、さらにライブ演奏として生成する「音楽」が、対決・共鳴するポリフォニックな視聴覚体験へ。

〔関連企画: 飯村隆彦講演会〕「デリダ哲学を映像にするー〈声と現象〉をめぐる」

2008年3月7日(金) 19:00～ [入場無料 / 定員108名 / 同時通訳付]

会場: 東京日仏学院エスバス・イマージュ(飯田橋) お問合せ: 03-5206-2500



■ あだちともみ / 1972年生まれ。パフォーマンス、コンポーザーとして国際的に活躍する一方、写真や映像作品も手がけている。2007年、ジョン・ケージ作「ユーロペラ 5」(日本初演 / サントリー・ホール)の演出を担当、国内外各地で公演多数。



■ いしだたかし / 1971年生まれ。10代から、画家として作品発表、ライブ・ペインティングを試みる。1995年頃から映像制作を開始。有機的な線を主体とした描画をコマ撮りの手法で「動く絵」へと変貌させるドローイング・アニメーションにより自己の制作スタイルを確立。



■ おだぎりあきら / 1938年生まれ。1961年に(株)電通入社、日本のテレビCMの黎明期に立会い、以後ほぼ40年間、日本のCMの発展と共に過ごした。定年を前に退社し、一度は離れた広告界に、オグルヴィ・アンド・メイザー・ジャパン(株)取締役共同会長、チーフ・クリエイティブ・オフィサーとして2005年に復帰。



■ いいむらたかひこ / 1937年生まれ。1960年に自主映画制作をはじめ、分析的なアプローチで、数々のフィルム・ビデオ、インスタレーション作品を手がけてきた実験的存在。ニューヨーク近代美術館、ポンピドゥー・センターでの上映展覧をはじめ、国際的に実験映画製作、発表を重ねる。



■ とよしまやすこ / 1967年生まれ。時に個人投資や生命保険などといった社会制度までも作品にとりこんで、「在る」こと「表現する」こと、それらをめぐるシステムを軌道に開く美術家。



■ にしむらともひろ / 1963年生まれ。1990年代から映像作品を制作。1993年、美術出版社主催「芸術評論一般公募」入選。美術評論家、映像評論家としての執筆活動のほか、展覧企画やさまざまな公募展の審査も手がける。



■ やまかわふゆき / 1973年生まれ。ホーメイ歌手、アーティスト、電子聴診器をはじめとする医療機器を創作にとり入れ、自らの心を重低音で増幅、さらに鼓動の速度や強さを自ら制御しながら、そのリズムを、光(輝電球)の明滅として視覚化するパフォーマンスなど、テクノロジーによる身体の拡張をコンセプトにした作品で知られる。(撮影: 渡辺由紀子)



■ かのうしほ / 1974年生まれ。1996年よりフィルムおよびビデオによる映像作品、インスタレーション制作を手がけ、作品は国内外のさまざまな映画祭、映像祭、展覧会で上映されている。



■ わたなべゆりひと / 1970年代末からグロッソリアによるヴォイス・インプロヴィゼーションを始める。1990年代後半にMAX/MSPを用いたリアルタイム・コンポジションによるソロ・パフォーマンスを開始。国内外およびヨーロッパでソロ・パフォーマンスやサウンド・アート・イベントの企画を行う。



■ ありますみひさ / エレクトロニクスやコンピュータを用いた音響表現を中心に、ジャンルを横断する活動を展開。作品もライブからサウンド・インスタレーションなど幅広く、美術家や映像作家との国内外でのコラボレーションも多い。(撮影: 松岡浩之)



■ いくにしやすのり / 自らの作品制作とともに、「映像作家徹底研究」シリーズなど、新旧の映像作家の新境地を引出すライブ・イベントを多数企画。田名網歌一、大竹伸朗、山口小夜子、大友良英、山本精一など、さまざまな領域の作家たちとともに、独自の世界観を展開した作品を世に送り出す。



■ かけがわやすのり / 1972年生まれ。1996年よりteevee graphicsに参加。テレビCM、ミュージック・ビデオ、ドキュメンタリー、ファッションショー、などの映像演出から、ビデオ&サウンド・パフォーマンス、さらにVJとしての顔を持つ。



■ やまもとせいいち / 1980年代後半以来「Boredoms」「悪い出波止場」「羅針盤」など数々のバンドに参加。神域ともいわれる演奏で名高いギタリスト。ソロ活動や数多くのコラボレーション、映画音楽、執筆活動などジャンルに縛られない多彩な活動を展開。(photo © Islay and Nicolas)



■ つのだとしや / 振動の観察・描写をテーマにフィールド録音、インスタレーション、パフォーマンスなどの制作を行う。ヒバリ・ミュージック、Hapna等からCDを発表。



■ ねお / 1978年よりCM、映画、音楽等の録音、MIX、サウンドデザインを主な仕事とする。とくに得意なのはFIELD RECORDING。写真のように音を切り取る。2006年、カンヌ映画祭でグランプリ受賞の映画「狼の森」(監督: 河瀬直美)で録音、音楽録音(FIELD RECORDING)を担当。



主催: 財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館 会場: 東京都写真美術館 地下1階展示室 入場無料(当日先着順・各日定員制)

◎地下1階ロビーゾーンの展示は、各日10:00から開場時間までご覧いただけます。
◎各プログラムの内容等は予定につき、都合により変更場合があります。
◎各プログラムの定員等詳細は、順次東京都写真美術館ホームページ [<http://www.ssyabi.com>]、携帯サイト [<http://syabim.com>] ほかで公開しますのでご確認ください。



東京都写真美術館 東京都目黒区三田1-13-3 (恵比寿ガーデンプレイス内)
TEL. 03-3280-0099 URL <http://www.syabi.com>

◎JR恵比寿駅東口改札より徒歩約7分・東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分 ◎当館には専用の駐車場はございません。お車でのご来館の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。

